

暮の暮まじりの掃りである。電車通り一
つ渡れば六区に入る。瓢箪池の跡を見たい
と思つて、裏へはいる。何館、〇〇館のジ
ンタの騒音を背にして、新築中の観音堂の
前に立つて、観音さまと舞い立つ鳩君とに
御無沙汰のあいさつをして、仲見世に出る
仲見世の並び店のむこうは、筆者の母校馬
道小学校である。その頃のおぢいさんより
はまだ幼い孫達のた
めに、玩具店を見な
がら、ぶらりくと
、雷門の方へ歩く。

おばあさんが立寄
つた店を何かとふりかえれば人形焼屋であ
る。昔のとは違つていると思つて娘さんに
聞くと、あれはもう代りまして、という。
だが銀座の洋菓子店でないことに昔を偲ん
で、昔と同じような顔なじみの人形焼を二
袋買つて、歩道沿いに吾妻橋の方へ来る。
おばあさんがまた立ち止つたのに足を止

大道おもちゃ

倉橋 生

めると、地下鉄の建物のわきで角力人形
大道おもちゃである。仲見世の現代玩具の
その中には刀剣やピストルも多いのどれ
にも目をとめなかつた筆者は、その角力人
形にすもうをとらせている人形売りの前に
その男の仕かけでもあるように足がとまつ
た。

うちに掃つてか
ら、よく点検研究の
?してみると、至
極く簡単な工夫だが
、小さいゴム球を握
つて空気を送ると、
白と赤との小さいセルロイド力士が、立上
つて仕切つてだまし、調子おもしろく、土
俵の上で取組むのである。力士の名のりな
どまだ知らぬ小さいひいきは、赤い方が負
けたとか白い人の方が強いねとか、盛に応
援する。その力のはいつた光景を昔の名力
士、今の年寄が、四本柱でニコく見てい
たことはいまでもない。

保育應答研究会

倉橋先生を中心に、毎回御熱心な多数
の方々の御参加により、終始活潑な討論
と、和やかな雰囲気、盛會を得て居り
ます。

一月〜四月迄は、種々の都合上、勝手乍
ら、休会させていただきます。

フレーベル館内
保育応答研究会係

幼児の教育 第三巻 第四号

定価 金五十円

昭和二十八年四月二十日発行

東京都中野区千光前町一〇

編集兼 倉橋 惣三
発行者

東京都文京区大塚町三十五

お茶の水女子大学附属幼稚園内

日本幼稚園協会

発行所

東京都板橋区志村町五番地

印刷所

凸版印刷株式会社

発売所

東京都千代田区神田小川町二ノ五

株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番
〇本誌御購置について注文申込その他はすべて發賣
所フレーベル館宛願います